



ひだまり



行事の
お知らせ

10日(木)
11日(金)
18日(金)



バスハイク 第1回目
バスハイク 第2回目
ひだまり運動会



保健の
お知らせ



1日(火)
2日(水)
3日(木)
17日(木)
23日(水)

Ⅱ班体重測定
Ⅲ班体重測定
Ⅰ班体重測定
整形外科相談
内科相談

今月のひだまり新聞では、利用者の皆様の紙工芸や革工芸の取り組みの様子と作品の紹介を致します。作った作品は、11月16日(土)開催のおおぞらまつりで販売する予定です。



紙工芸は、牛乳等の紙パックのコーティングを剥がす作業から始まります。利用者の皆様が作業しやすいように職員が準備をします。まず、紙パックを切り取り、平面にします。それから1日ほどかけて湯で浸してパックを柔らかくします。

準備が終ると利用者の皆様と職員とで一緒につるつるのコーティング面を剥がします。皆さん慣れた手つきで器用に剥がします。剥がし終えた紙は、数日風を通して乾燥させます。乾燥した紙は、利用者の皆さんが器用に細かくちぎります。

色付けには、ちぎったお花紙を混ぜます。はがきとして完成するまでには、その後も様々な工程があります。



紙パックのコーティングを剥がしているところです。上手く剥がすことができます。



ミキサーで細かくちぎった紙を攪拌しています。スイッチを押して、蓋を押さえて上手く混ぜられているでしょうか？



紙を漉いています。紙の厚みを考えて木枠にのせていきます。



革工芸は、細かな工程があります。その中でも革の表面に刻印する作業は、想像以上の力を必要とします。利用者の皆さんが作業しやすいように、刷毛を用いて水で皮を柔らかくしてから、刻印作業をします。

利用者の皆さんは、刷毛を用いて革に水を塗る作業や好きな絵柄を職員と一緒に選んで、刻印する場所を決めて打刻作業をします。

革への刻印はしっかりとした絵柄が革の表面に移るまでには、何度も木槌で叩きます。根気がある作業ですが、皆さん職員と一緒に集中して取り組みます。



革の毛羽立ちを押しやるためにコーティング作業をしています。



かがり作業の前の穴あけ作業の様子です。



完成までにはまだ工程がいくつかあります。出来上がりが楽しみです。



完成品です。



本紙は、ご利用者様と職員の共同制作です。